

公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(平成 29 年 8 月 30 日)

事業コード	H29-建-新-03		区 間	● 国庫補助 ○ 県単独			
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課			
事業種別	一次改築(現道拡幅)		班 名	調整・企画管理班 (tel)018-860-2483			
路線名等	一般国道 108号		担当課長名	参事(兼)道路課長 石川 浩司			
箇所名	湯沢市内銀山町十分一		担当者名	副主幹(兼)班長 柳沢 悟			
プランと の 関 連	政策コード	03	政 策 名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略			
	施策コード	05	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進			
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築			
<b>1. 事業の概要</b>							
事業期間	H 30 ~ H 36 ( 7 年)		総事業費	14.6 億円	国庫補助率	65.45	
事業規模	延長 L=1,800m 幅員 W=6.0(8.5)m (1.25-3.00-3.00-1.25)						
事業の立案 に至る背景	<p>国道108号は、宮城県石巻市と湯沢市、由利本荘市を結ぶ主要幹線道路で、産業・経済・観光振興等の機能を有する重要な路線である。</p> <p>しかし当該区間は、同路線における雄勝管内唯一の未整備区間となっており、幅員狭小(最小幅員4.25m)で、急カーブ(最小曲線半径60m)が連続し、交通事故や雪崩等も発生することから、車両の通行に支障をきたしている。道路利用者の安全確保や、第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能を保持するため、早急に整備を実施する必要がある。</p>						
事業目的	<p>○現道拡幅による安全で円滑な交通の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線形改良および幅員の拡幅による車両等通行の安全性等の向上</li> <li>・雪崩発生箇所の回避による防災・安全性の向上</li> </ul> <p>○緊急輸送道路としての機能を確保する(第二次緊急輸送道路)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H 30 年度	H 31 年度	H 32 年度	H 33 以降
	事業費		1,460,000	60,000	36,000	140,000	1,224,000
	経費内訳	工事費	1,304,000			80,000	1,224,000
		用補費	60,000			60,000	
		その他	96,000	60,000	36,000		
	財源内訳	国庫補助	955,570	39,270	23,562	91,630	801,108
		県 債	453,800	18,600	11,100	43,500	380,600
		その他					
	一般財源	50,630	2,130	1,338	4,870	42,292	
事業内容			路線測量、道路・橋梁詳細設計	用地測量、立木調査	用地買収、本工事	本工事	
調査経緯	<p>○平成27年度 道路概略設計</p> <p>○平成28年度 道路予備設計、地形測量</p>						
上位計画での位置付け	○第2期ふるさと秋田元気創造プラン重点戦略(観光・交通戦略)の「地域間ネットワークの構築」を推進する事業						
関連プロジェクト等	○湯沢市総合振興計画 国道108号を「広域交流軸」として位置付け、安定して迅速かつ安全に交流できる環境の整備を目標としている。						
事業を取り巻く情勢の変化	<p>○平成24年~平成26年度に当該工区の急カーブ区間で交通事故が6件発生している。</p> <p>○冬期間、当該区間にて小規模雪崩が発生し、片側通行規制等が発生している。</p> <p>○国道108号仙秋ライン整備促進期成同盟会から要望書が提出されている。(毎年)</p> <p>○湯沢市との行政懇談会から要望書が提出されている。(毎年)</p> <p>○秋田県国道108号鳥海ライン整備促進期成同盟会から要望書が提出されている。(毎年)</p>						
事業効率把握の手法	指 標 名	県管理国道改良率					
	指 標 式	改良率(県管理国道改良済延長/県管理国道実延長)					
	指 標 の 種 類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無			
	目 標 値 a	94.5 %	データ等の出典	道路課調べ			
	達 成 値 b	93.8 %					
達 成 率 b/a	99.3 %	把握の時期	平成 29 年 4 月				

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	○当区間の現況幅員は最小幅員W=4.25(5.75)mと狭隘であり、大型車のすれ違い困難、交通事故多発のほか、冬期には雪崩及び倒木が発生しており、道路利用者の安全に支障を来している。最小曲線半径も60mと急カーブとなっている。 ○当該工区では近年、急カーブ付近等で6件の交通事故が発生しており、早期に整備する必要がある。	20 点
緊 急 性	○秋田県道路整備計画において、由利地域と雄勝地域の地域間交流に寄与するほか、広域的な物流や鳥海国定公園を中心とした周辺観光へのアクセスに寄与する路線である。また国道13号との連携により、雄勝地域と宮城県とを結び、観光・産業・経済への効果も期待される。 ○当該工区起点側及び終点側は改良済みとなっており、同路線における管内唯一の未整備区間となっている。一連の効果を発揮するために早期事業化が必要である。	20 点
有 効 性	○第二次緊急輸送路に指定され、国道13号と直結し、現在整備中の東北中央自動車道ICのアクセスに寄与する路線であることから、整備による機能強化が期待される。 ○二次救急医療施設である雄勝中央病院へのアクセス路線であり、整備による救命率の向上が期待される。	12 点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.17であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 12.9億円 ・総便益の現在価値 15.1億円 ○計画交通量は1,700台/日である。	13 点
熟 度	○国道108号仙秋ライン整備促進期成同盟会から道路整備の要望書が毎年提出されている。会長が湯沢市長、副会長が大崎市長(宮城県)であることから、地元のみでなく広域的な交流にとっても必要な路線と認識されている。	15 点
判 定	ランク ( ● I ○ II ○ III ) 判定ランクIであり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	80 点
総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 評定結果から事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

## 4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

計画的な実施に努める。
-------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード ( H29 - 建 - 新 - 03 )  
箇所名 (湯沢市内銀山町十分一)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数	<ul style="list-style-type: none"> <li>車道幅員&lt;5.5m</li> <li>最小半径&lt;100m</li> <li>最急勾配&gt;5%</li> <li>冬期堆雪巾なし</li> </ul>	3箇所以上	17	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>車道幅員 4.25m</li> <li>最小半径 60m</li> <li>冬期堆雪巾なし</li> </ul> 計3項目
			2箇所	12		
			1箇所	7		
			0箇所	0		
			計	35		
	道路環境上の欠陥該当項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>現道の混雑度<math>\geq 1.0</math></li> <li>現道の旅行速度<math>\leq 30\text{km/h}</math></li> <li>現道の事故率<math>\geq 50</math>件</li> <li>通学路指定で歩道なし</li> <li>重大交通事故が発生</li> </ul>	5件該当	18	3	・重大交通事故が発生 計1項目
			4件該当	14		
			3件該当	10		
			2件該当	6		
			1件該当	3		
			該当項目なし	0		
	計	35	20			
	緊急性	道路をとりまく環境等				
関連事業の有無		<ul style="list-style-type: none"> <li>県の主要プロジェクト</li> <li>地域振興プロジェクト</li> <li>ほ場整備等の他事業</li> </ul>	あり	10	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋田県道路整備計画</li> <li>湯沢市総合振興計画</li> </ul>
			なし	0		
			計	10		
緊急度の高い課題の有無		<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等</li> </ul>	あり	10	10	・雪崩による通行止発生
			なし	0		
計		20	20			
有効性	道路の位置づけ					
	緊急輸送路		第1次輸送路	8	7	・第2次輸送路
			第2次輸送路	7		
			第3次輸送路	6		
			指定なし	0		
	救急医療施設へのアクセス		直接アクセスする	7	5	・二次救急医療施設 雄勝中央病院 (湯沢市)
間接的に補充する			5			
計		15	12			
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比 (B/C)		1.0以上	10	10	・B/C=1.17
			1.0未満	0		
	計画交通量		5,000台/日以上	5	3	・1,700台/日 (H42)
			1,000台/日以上~5,000台/日未満	3		
1,000台/日未満			0			
計		15	13			
熟度	地元の状況					
	地元ニーズ		文書要望あり	10	10	・仙秋ライン整備促進期成同盟会等から要望書あり
			口頭要望あり	5		
			要望なし	0		
	地元の協力体制		あり	5	5	・主な地権者から理解を得ている。
なし			0			
計		15	15			
合計				100	80	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		